

令和7年度 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①公務外非行の防止	公私ともに法令遵守を徹底し、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	【結果】管理職による事故・不祥事防止研修を実施し、情報提供と啓発活動を行った。 【達成状況】研修によって法令遵守の精神を高めた結果、事故・不祥事ゼロを達成し、信頼される学校づくりができた。
②セクハラ・わいせつ行為の防止	人権を尊重し、セクハラ、スクールセクハラおよびわいせつ行為を未然に防止する。	【結果】管理職によるアンケート調査や研修を実施して未然防止を徹底した。 【達成状況】研修等によって人権意識の向上を図った結果、件数ゼロを達成した。
③体罰、不適切な指導の防止	人権を尊重し、体罰・不適切指導等の未然に防止する。	【結果】管理職によるアンケート調査や研修を実施して未然防止を徹底した。 【達成状況】研修等によって人権意識の向上を図り、職員の意識向上を図れた。
④会計事務等の適正執行	適正に私費を執行し、経理処理に係る事故を未然に防止する。	【結果】管理職による伝票作成、金銭出納の指導を徹底し、適正な執行を図った。 【達成状況】指導の結果、事故を未然に防止した。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理・保護の徹底を図り、流出・亡失を未然に防止する。	【結果】担当者と管理職による指導の徹底を図り、対策重要度Ⅰをはじめとする個人情報を適正に管理・保護した。 【達成状況】指導の結果、個人情報の流出・亡失はなかった。
⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底し、事故・酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	【結果】管理職による処分事例の紹介や研修を実施し、防止と発生時の適正な対応を指導した。 【達成状況】指導の結果、交通事故や重大な違反はなかった。
⑦業務執行体制の確保	校務文書の作成・起案・保存等を適正に行う。	【結果】管理職による作成・起案・保存等の指導を実施し、グループ全体での共有を図った。 【達成状況】指導の結果、業務の適正な執行を図ることができた。
⑧定期試験、成績処理に係る事故防止	単位制支援システムの運用・点検を徹底し、事故を未然に防止する。	【結果】担当グループと管理職による運用に関する職員への指導と、成績処理・出欠席の入力点検を徹底した。 【達成状況】指導と点検の徹底の結果、事故を未然に防止した。

⑨調査書等、進路関係業務に係る事故防止	推薦・総合型選抜入試等の校内選考・手続き、一般入試の手続きの点検を徹底し、事故を未然に防止する。	【結果】担当グループ・卒業年次および管理職による手続きに関する職員への指導と点検を徹底した。 【達成状況】指導と点検の徹底の結果、事故を未然に防止した。
⑩入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜業務に係る点検業務を徹底し、事故を未然に防止する。	【結果】入選委員会と管理職による感染症対策を踏まえた研修等を実施し、業務確認を徹底した。 【達成状況】マニュアルの周知を徹底した結果、適正な業務の執行ができ、事故を未然に防止した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

【達成状況】

- ・毎年すべての項目を重点項目として位置づけ、年度当初に職員会議で不祥事ゼロプログラムを策定し、全職員で事故防止に努めることを周知徹底しており、職員の共通理解のもとで取り組むことを確認している。
- ・毎月の職員会議の前に、事故防止会議として、不祥事防止研修の機会を設けている。また、事故防止会議だけでなく、朝の打ち合わせでも各グループから必要に応じた事故・不祥事の呼びかけを定期的に行っており、学校全体で事故防止に取り組む雰囲気は完成されている。

【令和8年度に取り組むべき課題】

- ・引き続き、すべての課題を重点項目にあげ、学校全体で事故防止に取り組む。
- ・オフィス改善によって整理整頓された職場環境を維持し、業務の効率化と事故防止を図る。
- ・管理職からの具体的な指示・伝達を、教職員が所属するグループ等で共有を図ることを徹底するだけでなく、教職員自らが事故防止を心掛け、互いに気になることについては声をかけあえる、風通しの良い職場の環境づくりを行う。
- ・多様性に求められる人権等を理解し、学校全体で共有することにより、「人権尊重の精神」を涵養して事故・不祥事ゼロにつなげる。
- ・情報化に伴う文書等の適正な管理や新たな問題について、掲示板等を活用しながら全体の共通理解を図る。